

# 大塚地区新保育園整備基本計画

令和6年3月

蒲郡市

## はじめに

大塚地区(大塚町・相楽町・海陽町)の保育園(大塚保育園、大塚西保育園)は2園とも築50年以上が経過し老朽化していることに加え、低年齢児保育(0歳児～2歳児)に対応する設備を備えていません。しかし、核家族世帯、共働き世帯の増加など社会状況の変化から、現在の保育園においては低年齢児保育や延長保育、一時預かりなど様々な保育形態への対応が求められています。

本計画は、大塚地区で子どもたちに快適な保育環境を確保し、保護者の多様な保育ニーズに対応していくために、新しい保育園の整備方針について定めるものです。

## 1 大塚地区の保育園の現状と課題

### (1) 現保育園の概要(令和5年4月現在)

#### ・大塚保育園(大塚町後広畑)

定員 80 人

園児数 58 人(2 歳児 6 人、3 歳児 13 人、4 歳児 23 人、  
5 歳児 16 人)

敷地 4,583 m<sup>2</sup> 木造 1 階建 684 m<sup>2</sup>(昭和 45 年建設)



#### ・大塚西保育園(大塚町西屋敷)

定員 60 人

園児数 17 人(3 歳児 3 人、4 歳児 7 人、5 歳児 7 人)

敷地 3,545 m<sup>2</sup> 木造 1 階建 530 m<sup>2</sup>(昭和 48 年建設)



### (2) 現状と課題

#### ① 低年齢児保育

大塚地区における保育は、平成 29 年度までは3歳児～5歳児の受け入れのみでした。当時市内では、低年齢児である0歳児～2歳児保育を実施する保育園が多数を占めており、大塚地区での対応が課題となっていました。

低年齢児を受け入れるためには、専用の保育室、設備を備えるとともに、給食調理も自園で行う必要があります。大塚地区の2園は調理室がなく、給食センターからの外部搬入方式のため、低年齢保育を実施できません。また、調理室の新たな設置についてはスペース確保が困難です。

そのため、大塚保育園では2歳児給食の外部搬入を可能とする国の特別区域認定(名称「蒲郡市にここ給食特区」H29.12.26)を受けることで、平成30年度から新たに2歳児保育を開始しました。

しかしながら、大塚保育園では0歳児～1歳児、大塚西保育園でも0歳児～2歳児の保育は未実施のままです。

表1 大塚地区の保育の実施状況(令和5年4月)

施設名	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児
大塚保育園	○	○	○	○	×	×
大塚西保育園	○	○	○	×	×	×

⇒市内保育園の状況は資料1参照

こうした中、大塚地区の児童が低年齢児保育を希望する場合、他地区の保育園へ入所する状況が顕著になっています。令和5年4月時点で、大塚地区から他地区の保育園へ通う児童は41人(35.3%)です。

表2 大塚地区在住の児童の保育園入所先(令和5年4月)

大塚地区	他地区	計
大塚 58 人、 大塚西 17 人	三谷東 21 人、三谷西 5 人、 みどり 9 人、府相 4 人、 その他 2 人	計 116 人
計 75 人	計 41 人※	

※他地区の保育園に通う児童 41 人のうち、低年齢児で入所した児童は 38 人(0歳児から入所 8 人、1歳児から入所 26 人、2歳児から入所 4 人)

## ② 開所時間

保育園の開所時間は、保護者のニーズ、保育士の配置などを考慮しながら、園ごとに設定しています。開所時間が長いほど、保護者の利用ニーズとマッチします。大塚地区の保育園は他地区に比べ開所時間が短いため、長時間の保育を希望する場合、他地区の保育園へ入所する傾向にあります。

表3 保育園の平日開所時間(令和5年4月)

開所時間	施設名
8:30~16:30	大塚西
7:30~18:00	大塚、東部、形原北、形原、西浦
7:30~19:00	三谷東、三谷西、みどり、府相、南部、中部、北部、西部、塩津、形原南

※表2の他地区に通う児童41人のうち14人が18:00を超えて保育を利用

## ③ 一時預かり保育

一時預かり保育は、保育施設等に入所していない児童が、保護者の病気や急用などの理由で家庭で保育できないときに、一時的に保育園に預けることができる制度です。

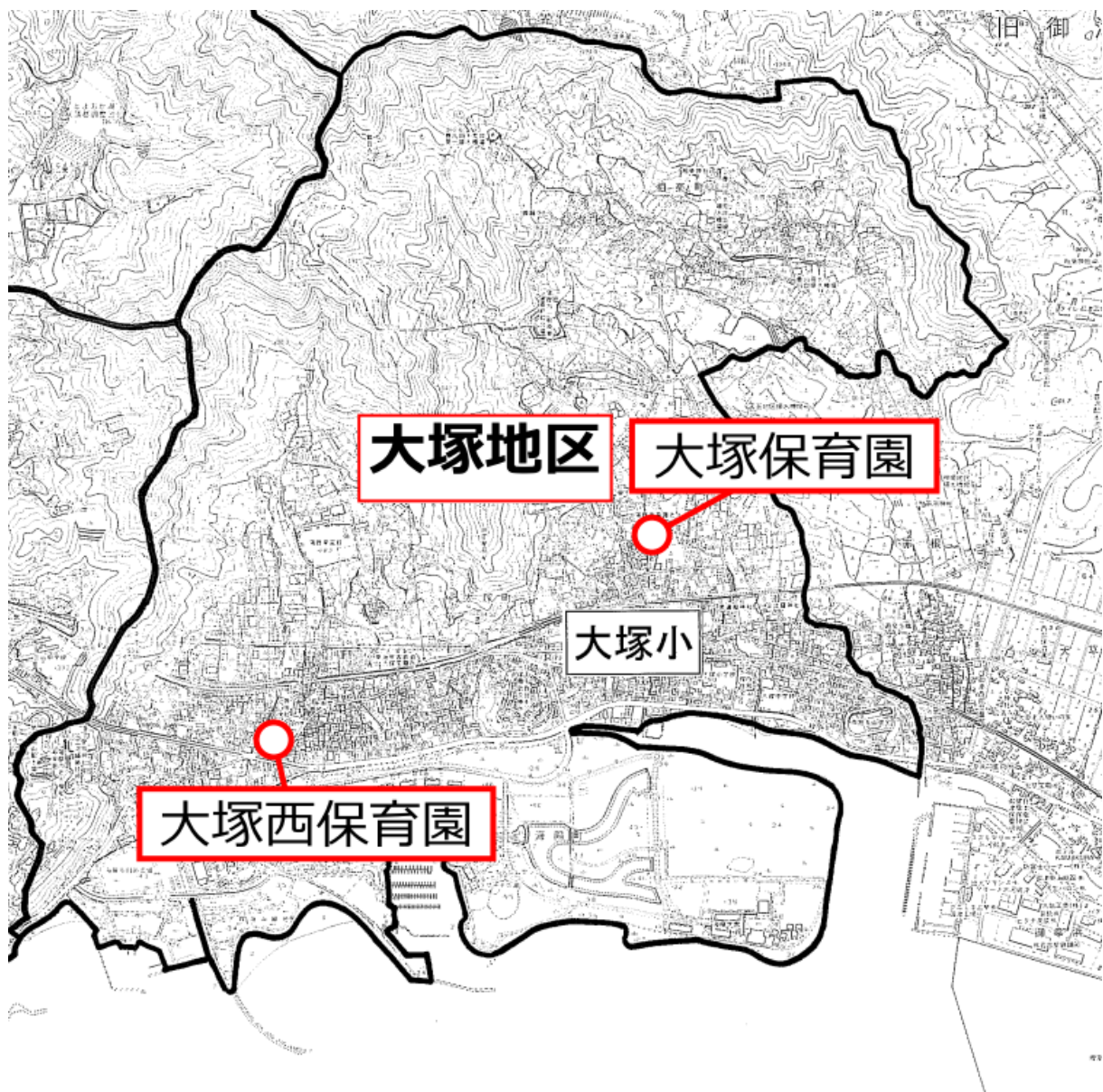
令和5年度における実施園は、大塚西、三谷西、府相、塩津、形原北、形原南です。ただ

し、大塚西保育園の利用は、2歳児以上としており、0歳児、1歳児の一時預かり保育を希望する場合、三谷西保育園へ預けることになります。

#### ④ 施設

大塚保育園は昭和45年、大塚西保育園は昭和48年に建設した施設で、どちらも建設から50年以上が経過しています。屋根の劣化、雨漏り、床の波打ちなど老朽化が進行しており、毎年多くの修繕が発生しています。また、保育室や設備は低年齢児の受け入れを想定したつくりになっておらず、低年齢児保育に必要とされる給食の自園調理設備もありません。

図1 大塚地区の保育園(現行)



## 2 保育園整備に関する市の計画上の位置づけ(全体及び大塚地区)

### 蒲郡市第5次総合計画(令和3年度～令和12年度)

- ・ 『低年齢児保育、延長保育など多様化する保育ニーズに対応するとともに利用者の安全を確保するため、教育・保育施設の適切な管理と整備を進め、受け皿を確保します。(P42)』

### 第2期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画(令和2年3月策定、令和4年3月改訂)

- ・ 保育ニーズへの対応について
  - 『既存の公立保育園、私立保育園、認定こども園(、認可外保育施設、小規模保育施設)で量の見込みをすべて確保します。(P50、P53)』

### 蒲郡市公立保育園のあり方について(保育園グランドデザイン)(令和3年3月策定)

- ・ 『今後は各施設の状況を踏まえながら統一的な保育サービスを実施できるよう、保育園の適正配置については、統廃合も視野に入れて検討していきます。(P15)』
- ・ 大塚地区について(P17)
  - 『大塚、大塚西保育園ともに老朽化が進んでおり、建て替えの必要があります。』
  - 『2040年時点の(大塚地区での)入所予想数は110人であり、基準とする規模(1園80人～110人)内となります。』
  - 『保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担の軽減がされ、効率的なクラス編成を行うことができ、大塚区域内で不足している低年齢児保育の充実につなげることができます。以上のことから、大塚保育園及び大塚西保育園の建て替えのタイミングで2園を統合します。』

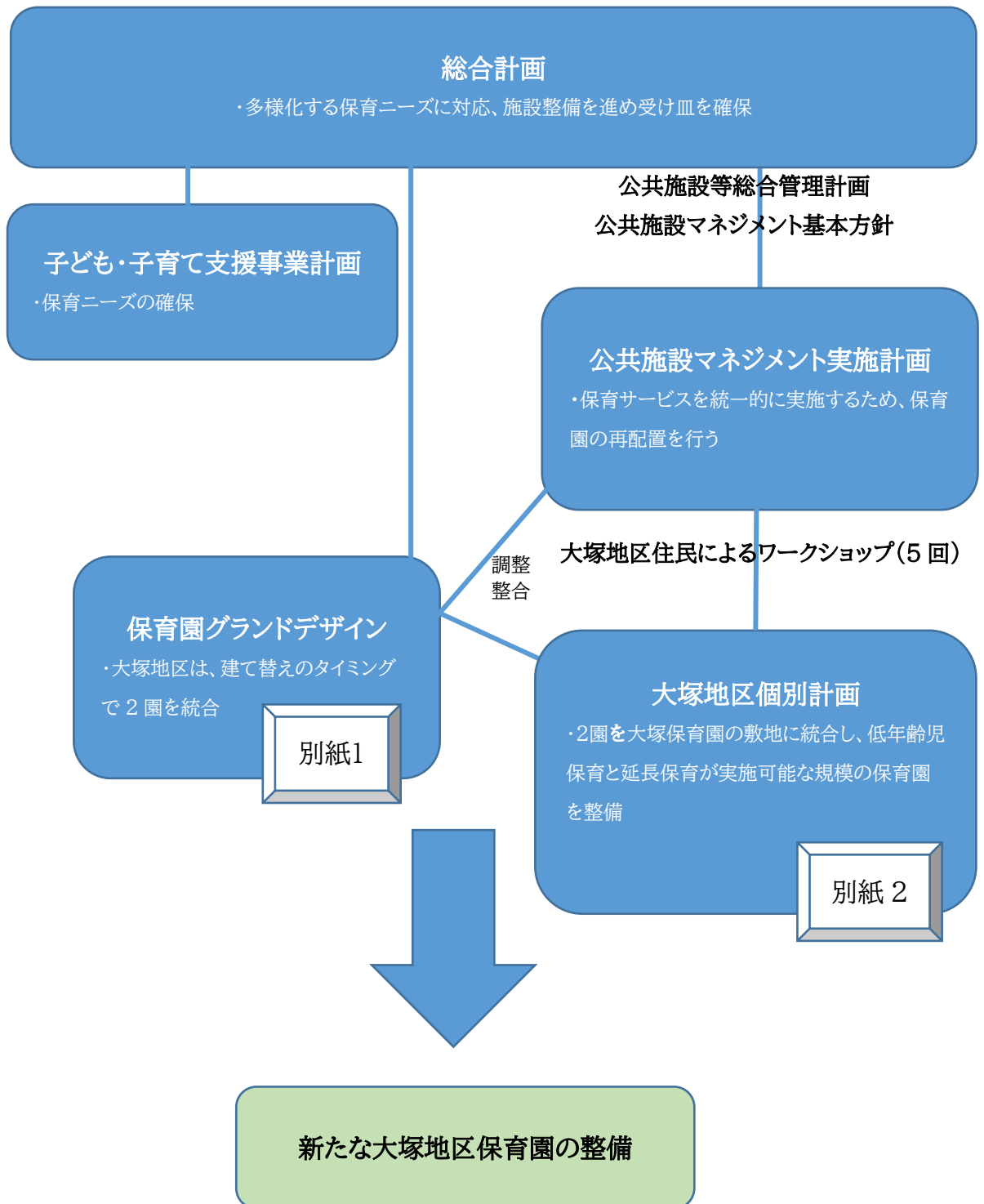
### 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画(平成29年3月策定、令和4年3月改訂)

- ・ 保育園について
  - 『地区個別計画の作成に合わせ、保育園グランドデザインを踏まえた再検討を行います。再検討にあたっては、低年齢児保育や延長保育等の保育サービスを統一的に実施するため、保育園の再配置を行います。(P61)』

### 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく大塚地区個別計画(令和4年12月策定)

- ・ 『大塚保育園・大塚西保育園はより高台にある現在の大塚保育園の敷地に統合させ、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。』

図 2 保育園整備に関する市の計画の位置づけ

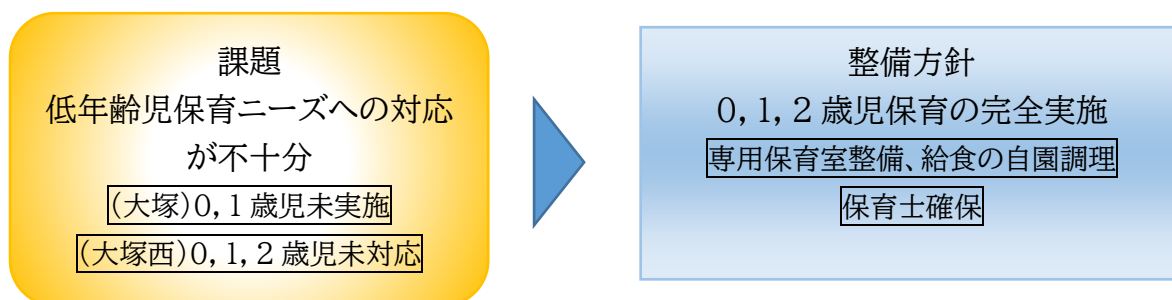




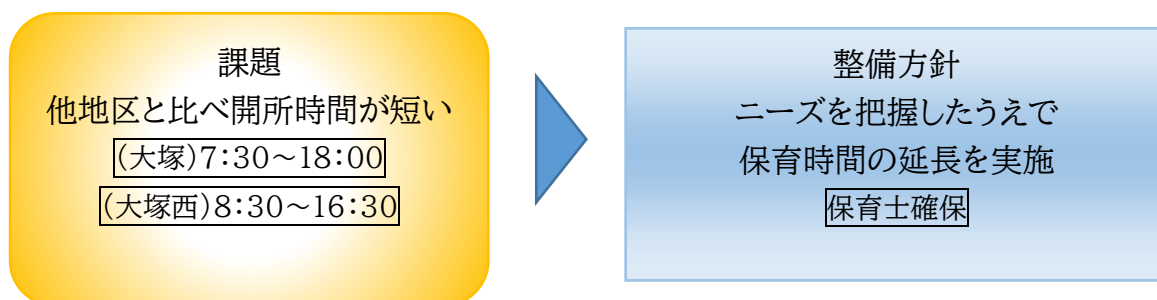
### 3 整備方針

大塚地区の保育園においては、施設の老朽化に加え低年齢児保育サービスの未実施など課題がありますが、現行の施設では対応できません。この課題を早期に解消するため、既存2園を統合した新しい保育園を整備し、保育ニーズへ対応していきます。

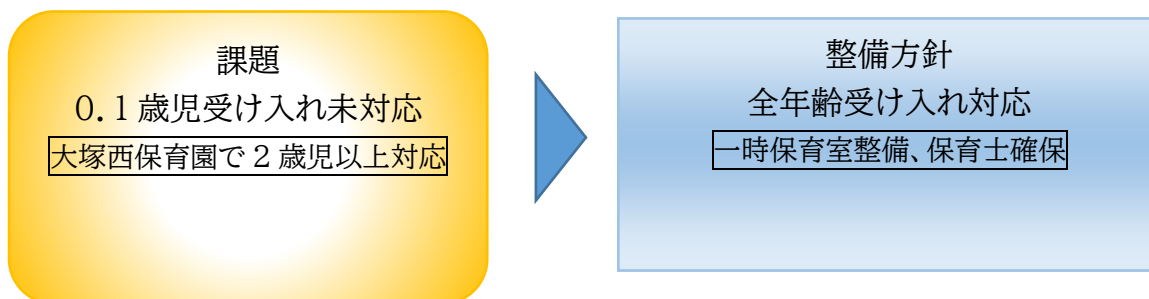
#### (1) 低年齢児保育



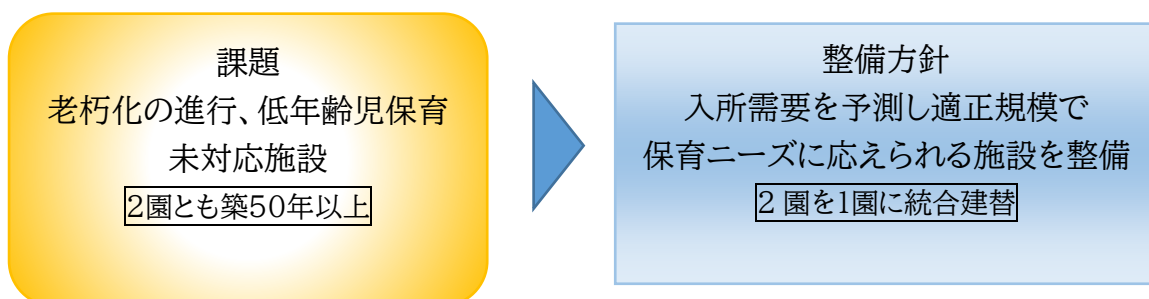
#### (2) 開所時間



#### (3) 一時預かり保育



#### (4) 施設



## 4 整備場所について

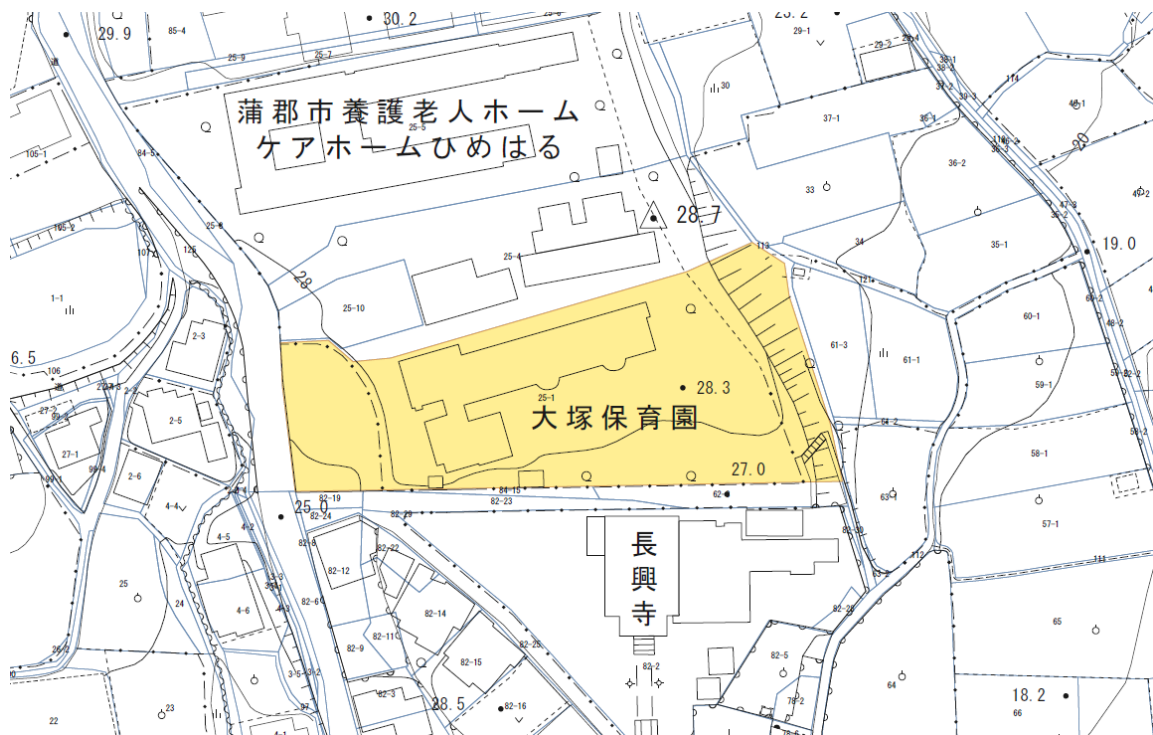
大塚地区は三河湾に面した南側に東西に広がる市街地が形成されているエリアであり、現在保育園は東エリア・西エリアに1園ずつ存在しています。

大塚地区の保育園を統合し建て替えを行う際の場所選定について、通園送迎の利便性を考えると、JR三河大塚駅付近の地区中心部に整備するのが望ましいと考えます。

しかし、新たな建設場所を確保し保育園を整備する場合、必要規模の用地選定や土地取得の困難さ、周辺住民の理解や送迎車両により交通量増加への対策等、相応の期間が必要となります。

このことから、施設老朽化への対応、高まる保育ニーズへの対応のため、統合先の施設は早急に整備する必要があることを考えると、既存の保育園敷地に整備することが最も合理的であると考えます。

既存の大塚保育園と大塚西保育園の敷地においては、大塚保育園の敷地の方が面積が広いこと、周辺交通量が少なく送迎時の安全性が高いこと、高台にあり地盤の安全性も高いこと等の理由から、現大塚保育園の敷地にて整備することが望ましいと考えます。





## 5 新施設の考え方

新保育園の園舎整備にあたっては、次の内容をコンセプトとして整備するものとします。

- 大塚地区らしさを感じさせ、周辺環境に調和した施設であること。
- 自然との共生を考慮した施設であること。
- 子どもたちが行きたくなるような明るいイメージの施設であること。
- 子どもたちが豊かな心と健やかな体を育てることができる設備であること。
- 園庭開放や地域交流ができる、地域に開かれた施設であること。
- 子どもたちの安全を第一に考える施設であること。
- 安全で災害に強い施設であり、指定避難所としての機能を備えること。
- 敷地を最大限に活用し駐車場の駐車台数の充実を図るとともに、保護者にとって安全で送迎しやすい駐車場であること。
- 機能的な動線の確保、使いやすい収納など、利用者及び保育士にとって安全・快適であり、使いやすい施設であること。
- 日頃の清掃や点検、中長期的な保全等、維持管理がしやすく、運営や保全にかかるコストに配慮された施設であること。
- 省エネ技術や再生可能エネルギー技術等活用し、環境に配慮した施設であること。

## 6 新保育園の概要

(新)大塚保育園(現大塚保育園敷地)

定員 110 人(0 歳児 6 人、1 歳児 12 人、2 歳児 12 人、3 歳児 20 人、4 歳児 30 人、5 歳児 30 人)

敷地 4,583 m<sup>2</sup> 建築面積 1,200~1,300m<sup>2</sup>程度を想定

概算工事費用 7~8億円程度を想定

施設概要 保育室、遊戯室、一時預かり保育室、調理室、事務室、倉庫など

その他 低年齢児保育、一時預かり保育、開所時間の延長、自園調理方式、木質化

検討事項 園庭の芝生化

### 保育室等の所要条件

室名		定員 (人)	想定 部屋数	認可基準 面積(m <sup>2</sup> )	その他必要な設備	備考	
保育室	乳児	0歳	6	1	19.8	(乳児室) 沐浴室、調乳室、 収納	
		1歳	12	1	39.6	(ほふく室) トイレ、収納	
		2歳	12	1	39.6	収納	
	幼児	3歳	20	1	39.6	収納	
		4歳	30	1	59.4	収納	
		5歳	30	1	59.4	収納	
	2~5歳児用		-	2	-	収納	1部屋50m <sup>2</sup> 程度
	小計		110	8			
一時保育室		10	1	33	収納		
遊戯室		-	1	-	ステージ、室内倉庫		
調理室		-	1	-	検品室、食品庫、トイレ、休 憩室		
事務室		-	1	-	医務スペース	職員席数15程度	
2~5歳児用及び一 時保育室用トイレ		-	適宜	-		2室につき1か所を、保育室 に隣接する形で設置。	
職員用トイレ		-	1	-			
更衣室		-	1	-			
休憩室		-	1	-			
倉庫		-	適宜	-			
ホール・廊下等		-	適宜	-			
その他		-	適宜	-			
屋外遊戯場(園庭)		-	-	330	2歳児以上100人		
駐車場(敷地内)		-	-	-		駐車台数20台程度	

※敷地面積4,583m<sup>2</sup>

※上記条件をベースに施設状況・課題(こども誰でも通園制度(仮称)や令和6年4月以降の保育士配置基準など)を踏まえて検討します。

## 7 工事期間中の保育

工事期間中の大塚保育園児の保育については、地域性や送迎にかかる負担等を考慮に入れ、保育場所、受入方法等を検討していきます。

## 8 工事などのスケジュール

- |         |  |
|---------|--|
| 令和5年度   | 住民・保護者への説明、敷地等の基本調査、工事期間中の保育等の具体的計画の策定           |
| 令和6～7年度 | 基本設計・実施設計、保護者への意見徴収、工事期間中の大塚保育園児受け入れのための必要な措置を実施 |
| 令和8年度   | 新保育園建設工事   |
| 令和9年度   | 新保育園の供用開始  |

## 9 その他

大塚西保育園の解体時期については、他地区の整備状況を踏まえて検討します。

## 【1】 市内保育園の保育実施内容比較(令和5年4月)

No	園名	公・私	所在地	保育実施			延長保育	平日開所時間
				0・1歳児	2歳児	3～5歳児		
1	大塚	公	大塚町後広畑	×	○	○	○	7:30~18:00
2	大塚西	公	大塚町西屋敷	×	×	○	×	8:30~16:30
3	三谷東	公	三谷町東四丁目	○	○	○	○	7:30~19:00
4	三谷西	公	三谷町七舗	○	○	○	○	7:30~19:00
5	みどり	私	豊岡町向山	○	○	○	○	7:30~19:00
6	東部	公	豊岡町池田	×	○	○	○	7:30~18:00
7	府相	公	丸山町	○	○	○	○	7:30~19:00
8	南部	公	神明町	○	○	○	○	7:30~19:00
9	北部	公	清田町門前	○	○	○	○	7:30~19:00
10	西部	公	神ノ郷町壺町田	○	○	○	○	7:30~19:00
11	中部	公	旭町	○	○	○	○	7:30~19:00
12	塩津	公	竹谷町今御堂	○	○	○	○	7:30~19:00
13	形原北	公	金平町三本木	×	×	○	○	7:30~18:00
14	形原	公	形原町中村	○	○	○	○	7:30~18:00
15	形原南	公	形原町西根崎	○	○	○	○	7:30~19:00
16	西浦	公	西浦町丸落	○	○	○	○	7:30~18:00

他に市内に認可保育施設は(私)鹿島こども園、(私)木船幼稚園、(私)むつみの丘があります。

## 【2】 保育施設整備をめぐる近年の動き(まとめ)

平成24年度 (公)南部保育園建て替え 新園舎完成  
令和元年度 (私)鹿島こども園 乳児棟(0歳児~2歳児)増設  
令和2年度末 (公)塩津北保育園 閉園  
令和3年度 (公)塩津保育園改修により0歳児~1歳児保育の開始  
令和4年度 (公)北部保育園 乳児棟(0歳児~2歳児)増設  
令和5年度 (私)むつみの丘 開設(0歳児~2歳児)

## 【1】 地元住民及保護者向け説明会について

○地元住民向け○ 参加者18名  
令和5年9月24日(日)14時から  
大塚公民館集会室にて実施



○保護者向け○ 参加者8名  
令和5年9月30日(土)14時から  
大塚保育園遊戯室にて実施



## 【2】 説明会において出た主な意見

説明会でいただいた主な意見は次のとおりです。いただいた意見を踏まえ、統合・建替を進めてまいります。

### 新保育園 について

- ・保護者の送迎用車の駐車場の確保をしてほしい。
- ・現在ガードレールなどもないため安全対策をしてほしい。
- ・学年に捉われずみんなで遊べるような広い園庭や遊具があると良い。
- ・今の保育園は車道から様子が見えないので、見通しの良いレイアウトになると良い。
- ・増築は園庭を狭めるし、低年齢児がいる保育園で2階建ては不安。
- ・保育室とトイレが一体化しているのはやめてほしい。
- ・雨の日に渡り廊下が濡れない作りしてほしい。
- ・「自然」をテーマに子供たちが行きたくなるような保育園を目指してほしい。
- ・大塚らしいモチーフの取入れはよいが、大きなモニュメントとかにお金はかけないで、実際に保育をされる保育士さんから意見を取り込んでほしい。
- ・養護老人ホームつつじ寮など地域交流ができる設計にしてはどうだろうか。
- ・新大塚保育園の2歳児の定員が1歳児と同じ12人は少なくないか。

### 説明会 について

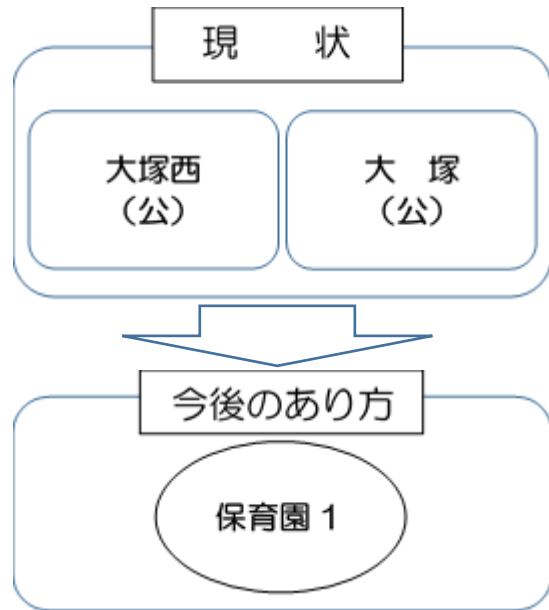
- ・説明会の時に子どもを預けられると参加率が上がると思う。
- ・内容について事前情報がないと意見が出しにくい。

### 工事中 について

- ・工事車両の経路を気を付けてほしい。
- ・工事期間中の、安全確保、駐車場確保をお願いしたい。
- ・仮設工事中から0、1歳児受入や保育時間延長ができないか。



(3)ー1 大塚中学校区



■現状■

施設名	建築年月	構造	受け入れ歳児(人)							利用可能時間 (延長保育含む)
			0	1	2	3	4	5	計	
大塚保育園	S45.12	木造1F	/	/	11	20	18	25	74	7:30-18:00
大塚西保育園	S48.3	木造1F	/	/	/	4	6	5	15	8:30-16:30
2020年3月時点中学校区内保育園等入所数			0	0	11	24	24	30	89	

■将来ニーズ予想■

	0-5歳児計
2040年時点中学校区内保育園等入所数予想(①+②)※	110
2040年時点中学校区内居住児童の入所ニーズ予想①	120
2040年時点他中学校区の民間園への入所予想②	▲10

※各中学校区で公立保育園のサービスの統一を行っても、他中学校区の民間園へ通う児童が一定数いると考え、現状値をもとに当該児童数を除いています。

■今後のあり方■

- ・ 大塚保育園、大塚西保育園ともに老朽化が進んでおり、建て替えの必要があります。
- ・ 2040年時点の中学校区内保育園等入所数予想は110人であり、基準とする規模内となります。
- ・ 大塚地区では低年齢児の受け入れが不足しており、他地区の園に通わざるを得ない状況でしたが、統合の際に自園調理室を設置し低年齢児保育を開始することで、地域の園に通わせたいというニーズに応えられるようになります。
- ・ 大塚保育園、大塚西保育園ともに敷地全てが借地ですが、統合により毎年の土地賃借料の負担を軽減することができます。
- ・ 保育園の集約を行うことで、建て替えと運営の両方の財政負担の軽減がされ、効率的なクラス編成を行うことができ、大塚中学校区内で不足している低年齢児保育の充実にもつなげることができます。以上のことから、大塚保育園及び大塚西保育園の建て替えのタイミングで2園を統合します。

## 抜粋

# 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく 大塚地区個別計画

## コンセプト

子育て機能を充実させ、  
「教育」と「交流」の拠点をつくる

## 施設再編の内容

- 大塚小学校・大塚中学校・大塚公民館の機能を現在の大塚小学校の敷地に集合させ、「教育」と「交流」の拠点を形成します。
- 大塚保育園・大塚西保育園はより高台にある現在の大塚保育園の敷地に統合させ、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- おおつか児童館は、現地で長期にわたって利用できるような適切に維持していきます。

